**肝炎医療コーディネーターについて**

資料３

**１．令和４年度肝炎医療コーディネーター養成研修の結果**

■日　　程：令和４年11月１日～30日（WEB配信。確認テストの提出により受講を確認。）

■対象者：肝疾患診療連携拠点病院、肝炎専門医療機関、肝炎協力医療機関、その他医療機関

市町村、保健所、府、健康サポート薬局、患者団体

■当番病院：関西医科大学総合医療センター　（輪番：公立大→近大→阪大→大医→関医）

■研修プログラム

|  |  |
| --- | --- |
| 講　義 | 講　師 |
| 府の肝炎対策 | 資料の掲載 |
| 肝炎医療コーディネーターの役割 |
| 肝疾患（基礎知識） | 関西医科大学総合医療センター消化器肝臓内科 医師 山科 雅央 |
| 肝疾患（医師向け：肝がん薬物療法） |
| 肝臓病の薬物治療 | 同院 薬剤師 久保 悦子 |
| 肝炎治療に関する看護師の取り組み | 同院 看護師 筧 郁代 |
| 肝炎の食事療法について | 同院 管理栄養士 西辻 知恵美 |
| コーディネーター活動報告 | 健康サポート薬局 ふじ薬局 有澤 幸大 |
| コーディネーター活動報告 | B型肝炎患者を支える会 代表 横山 功一 |



**２．肝炎医療コーディネーターの配置状況 (令和５年２月１日現在）**

**■R4認定数：８７１人（新規６２４人、更新２４７人）３０２機関**

**■累計認定数：３，４１７人（実人数２，８７３人）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H30 | H31 | R2 | R3 | R4 |
| 認定数 | 178人 | 200人 | 1,214人 | 954人 | 871人 |

**■実人数（２，８７３人）の内訳**

**➊ 行政機関：２７６人**（大阪府８３人、市町村１９３人）※未配置：７市町村

**➋ 拠点病院・専門医療機関：１，５５１人　　❸協力医療機関：４４１人**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 二次医療圏 | 総数 | 設置機関数 | 設置割合 | 配置人数 |
| 豊能 | 17 | 17 | 100% | 264人 |
| 三島 | 13 | 12＊ | 113人 |
| 北河内 | 19 | 19 | 160人 |
| 中河内 | 16 | 16 | 116人 |
| 南河内 | 10 | 10 | 184人 |
| 堺市 | 15 | 15 | 50人 |
| 泉州 | 16 | 16 | 176人 |
| 大阪市 | 87 | 87 | 488人 |
| 計 | 193 | 192 | 1,551人 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 二次医療圏 | 総数 | 設置機関数 | 設置割合 | 配置人数 |
| 豊能 | 52 | 8 | 15% | 25人 |
| 三島 | 39 | 11 | 28% | 25人 |
| 北河内 | 65 | 15 | 23% | 165人 |
| 中河内 | 53 | 17 | 32% | 29人 |
| 南河内 | 33 | 8 | 24% | 12人 |
| 堺市 | 50 | 9 | 18% | 15人 |
| 泉州 | 91 | 32 | 35% | 78人 |
| 大阪市 | 250 | 54 | 22% | 92人 |
| 計 | 633 | 154 | 24% | 441人 |

**【職種別】**

＊コーディネーター未配置1件（坂谷クリニック）

|  |  |
| --- | --- |
| 職種 | 人数 |
| 医師 | 312人 |
| 薬剤師 | 567人 |
| 看護師 | 737人 |
| 保健師 | 234人 |
| 栄養士 | 70人 |
| MSW・相談員 | 114人 |
| 臨床検査技師 | 86人 |
| その他コメディカル | 100人 |
| 患者団体 | 28人 |
| 事務職 | 599人 |
| 未回答 | 26人 |
| 計 | 2,873人 |

**❹ その他医療機関：７６人（３２施設）**

**※**眼科16人（8施設）

**➎ 健康サポート薬局＊：５０１人（１９２/２９６施設）**

　 ＊地域住民のかかりつけ薬局として薬だけでなく

健康に関する相談支援を行う大阪府認定の薬局

**❻ 患者団体：２８人（２団体）**

**３．コーディネーターの活動促進（令和５年度～）**

**『全国トップの養成数。養成したコーディネーターを活用して肝炎対策を推進』**

**現状と取組**

**➊養成促進**

　健康サポート薬局（未配置104/296）、市町村（未配置7）への配置100％を目指す。

➡　府薬剤師会と連携した周知を継続（R2～）、町村には個別に受講勧奨を実施（R5）。

※現在の養成対象への配置を強化し、養成対象の拡大は今後の検討課題とする。

**➋「医師向けプログラム」の充実**

　 専門医療機関研修(府医師会と共催)と一本化（R4～）、養成研修に「医師向けプログラム」を追加。

➡　標準治療の周知等、拠点病院と協力し「医師向けプログラム」の充実を図る。

**❸活動促進**

　　養成研修に「活動報告」を追加（R3～）、具体的な活動例を示してコーディネーターの実働を促進。

➡　まだまだ「どのように活動したらよいか分からない」との声が多く、さらに色々な分野の活動例を紹介。

【活動例】●検査科での「陽性者の掘りおこし」

●医事課での「肝がん・重度肝硬変患者の拾い上げ」

●市町村と市民病院等が連携した「ついで検診」

●眼科での「ウイルス検査と専門医での精検勧奨」

**課題**

**● 現在の養成研修（基礎的な内容）だけでは、コーディネーターの活動促進には不十分。**

**➡ スキルアップの取組により実践力の向上を図り、更なるコーディネーターの活動促進が必要。**

**対応案**

**◆ スキルアップ研修の追加開催（拠点病院主導）**

～スキルアップ研修のイメージ～

　　内　容：毎年テーマを決めて、職種や所属別に対象者を設定し、グループワーク等を実施。

　　位置づけ：コーディネーターの認定・更新には関わらない、希望者のみ参加の研修。

　事務局：拠点病院の輪番or拠点病院協議会に設置

　予　算：国や学会の補助金など＊

その他：登録名簿は府管理のため、研修案内は府が担当。

**➡ R5(R6)～開催に向けて、拠点病院協議会で検討したい**

＊参考：日本肝臓学会の支援事業について

**拠点病院が主催する**肝炎コーディネーター研修の支援制度あり（補助金27万円）。

R5エントリー（申込期限：R5.11月頃) → R6研修分に活用できる可能性あり。

**◆ その他（スキルアップの取組についてご意見お願いします）**